

第2回 岐阜市経済対策意見交換会 議事録

- | | |
|--------|-----------------------------|
| ■日 | 時：令和6年7月10日（水）14：00～15：30 |
| ■場 | 所：みんなの森ぎふメディアコスモス かんがえるスタジオ |
| ■出席者 | ：別紙のとおり |
| ■報道関係者 | ：なし |

1 岐阜市長あいさつ

【柴橋市長】

- ・ 人手不足は様々な企業や団体の皆さんにお会いすると必ず話題になるテーマ。本市では、ワークダイバーシティ推進事業、テレワークを活用したショートタイム事業、超短時間雇用など、働きたい方々の活躍の場を作るということを、数年取り組んできた。
- ・ 生産性を向上して、限られた人的資源を生かしながら経済活動を行っていくということが大事。
- ・ 国において取り組むべきこと、県が取り組むべきこと、本市も基礎自治体として、国や県の動きも見ながら、きめ細やかに地域での課題に取り組んでいく。本日はご意見をいただいて、本市の経済対策にぜひ生かしていきたい。

2 出席者ご紹介

(資料1の出席者一覧の配付にて紹介に代える。)

3 地域経済の回復・活性化に向けた経済対策等について

資料2 「物価・賃金指数と主な経済支援事業」

資料3 「地域経済の回復・活性化に向けた経済対策について」

資料4 「物価高等に関する影響調査（結果）」

4 意見交換

各団体の現状や今後の見通しなどについて、資料1の出席者一覧の順にご意見を頂戴した。

【岐阜商工会議所 小澤副会頭】

- ・ 定期的に経営の状況を調べる景況調査の今年3月の回答結果では、卸売業以外の全ての業種が、**物価に関することが一番の問題点**であると回答。
- ・ **経営上の課題は、収益の向上、人材の確保、そして新規挑戦**。新規挑戦では、いろいろな補助金がある。例えば、事業再構築補助金や小規模事業者持続化補助金などを活用して、**今の社会課題に対応するスタートアップ事業などで新たな成長が期待できる**のではないかと。

【柳津町商工会 竹中会長】

- ・ 円安による商品物価並びに仕入れ価格の高騰等によって、中小企業や個人経営者は支出増加に伴い生活事業そして経営についてかなり危機感を持っている。
- ・ 仕入れ価格、代金や公共料金高騰による、取引先の条件の悪化、収益の減少、価格転嫁による消費の減少、給与の支払い、経営の圧迫、当面地方経済については厳しい状態が続く。
- ・ 公共事業の拡大による道路インフラの整備の活用、地域事業者の発注促進等の事業統合をお願いしたい。
- ・ 輸入原材料の仕入れ、コスト減のための施策・法案など、小規模事業者の経営が持続できる環境および対策を打ち出していただきたい。

【岐阜青年会議所 山下理事長】

- ・ 岐阜青年会議所の会員は業種の偏りが無い。物価上昇や人手不足というのは、会員内の会話では非常に多く出ている。会員同士が集まる機会が多いことから、情報交換は多分にしている。

【岐阜市商店街振興組合連合会 北川理事長】

- ・ 商店として上手く機能していない。今の時代に本当に合っているのか、物を買うとなると流行りのネットで購入したり、郊外のショッピングセンターで購入したりする方が便利という状況。商店街として機能しているとなると駅前だけではないか。
- ・ 中心街にマンションが多く出来て、人が一時から思えば少しずつ増えつつある矢先に、岐阜高島屋の撤退、名鉄岐阜駅イクトの閉店。現実的に生活用品や食料品を購入する場所が無くなってしまわないか。生鮮食料品を扱っている店がほとんど無い。
- ・ 人の流れが増えてくれば、車の交通量が増える、活気があれば、お店の方も少しでも販売価格を上げていると思うが、現実には人の歩く交通量が減ってきている中で、なかなか値段を上げづらい状態。
- ・ 大きな企業の移転や撤退が始まっている。大きな場所が空き店舗になると、小さな店舗の場合には割とスムーズに入ってもらえるが、なかなか個店が入ることは不可能ではないか。
- ・ 商店街としては自分達の地域が楽しい街であってほしい、コミュニケーションがとれるような街になっていけばいい、憩いになるような場所を提供するようなステージであっていきたい。

【一般社団法人岐阜ファッション産業連合会 糸尾理事長】

- ・ 製造原価は2~3割アップしており、メーカー希望卸価格の定価も2~3割上げているところだが、実際の販売価格は1割ぐらいの値上がりか価格据え置きというのが現状。未だに価格競争が激しく、値引き合戦やセール合戦が繰り広げられているのが現状で、なかなか価格転嫁が進んでいない。
- ・ 販路拡大や販売促進事業といったイベントは例年よりもさらに力を入れて取り組んでいる。
- ・ 消費者の趣味嗜好の多様化やコロナによるライフスタイルの変化などにより、ファッション衣料は非常に厳しさを増しているが、旅行やお出掛けに行くと1着欲しくなるという心理を生かして、旅

行支援やお出かけ支援などの消費喚起政策などを行っていただければ、衣料品の購買意欲も増えてくる。

【協同組合岐阜市土産品協会 藤吉代表理事】

- ・ 材料費が上がってきたら、当然、値段を上げるしかないが、**卸業者としては、納品先に値上げを伝えると渋られる**ので、板挟みで苦しい。
- ・ 岐阜市土産品協会として、福井県に視察へ行ったが、福井駅では、福井の推しが非常に分かるように工夫されていた。難しいことをやるのではなく、**物が売れるには工夫が大事。仕掛けが少し足りない**と感じた。
- ・ 岐阜にブランド力をつけて、岐阜に来たらこのぐらいの値段はするという、**価格に負けない魅力のあるお土産なら売れる**のではないかな。
- ・ とにかく外部の方に来ていただいて、1 個でも余分に買っていただいて、お金を落としていただく、そこが一番の基本である。

【岐阜長良川温泉旅館協同組合 伊藤理事長】

- ・ 平成 30 年度と比較し、宿泊人数ベースで大体 74%、令和 5 年度比で 105%と戻りが遅い。
- ・ 取り組みとして、1 つ目が**平日の需要が少ない日は休館日を設けて効率化を図ること**、2 つ目がレヴェニューマネジメント、いわゆる**宿泊料金を顧客の需要に応じて、商品やサービスの料金を変動させていく**というような方法を取り入れること、3 つ目が補助金などを活用し、**高付加価値化に取り組み顧客満足度を上げていく**ことを進めている。
- ・ 人手は非常に不足している。**対応できない部分は外国人雇用で進めていこう**というところ。
- ・ コロナ後の観光宿泊客数は、**インバウンドを取り込めた地域かどうかで明暗が大きく分かれる状況**にある。岐阜市の方も、インバウンド推進室を作っていただいたり、DMOを設けたりと、進めているところでは非常に感謝している。
- ・ **インバウンドの経済波及効果は高い。岐阜市全体として捉え、宿泊だけでなく、日帰りのインバウンドを取り込む方法も考えていただければ良いのではないかな。**

【一般社団法人岐阜ホテル会 藤井代表理事】

- ・ エネルギー関連、食材価格、消耗品、人件費まで含めて例外なく値上がりしているため、**宿泊料金に転嫁せざるを得ない**。宿泊料金はコロナ前と比較して高くなっているが致し方ない。**顧客満足度を下げるわけにいかない**ので、**プラン内容の見直しや、付加価値の付け方や見せ方、SNSの活用と情報発信に取り組んでいる**。
- ・ **人手不足については厳しい状況**だが、他都市ではスタッフ不足がゆえに、満室に出来ないという状況のところもある。岐阜に関してはそのようなことになっていない。宿泊業は人気がない職種なのか、人材不足はコロナ前から言われていた。なかなか確保が厳しい。耐えるしかない。

- ・ **稼働自体はコロナ前の状況に戻っている。押し上げているのは観光。**旅行者のニーズが多様化してきており、ビジネスホテルを観光目的で使うということに違和感がなくなっている。
- ・ **インバウンドに関しては、団体旅行から個人旅行へのシフトがかなり進んできている。**コロナ禍の団体旅行では、目的地はあくまでも白川郷や高山で、行程上やむを得ず岐阜市に宿泊していた。**個人旅行者は、岐阜市を目的に来ているため非常にチャンス。**インバウンドの方は非常に広範囲に動かれるため、関市や郡上市と定期的に情報共有をしている。

【一般社団法人岐阜土木工業会 長尾理事】

- ・ **円安と資材価格の高騰がずっと続いている。**公共事業において、今後とも、資材価格高騰の対応をお願いしたい。**民間個人については、契約への転嫁と理解は、まだまだ厳しい状況がある。**
- ・ 人手不足について、我々も地域の守り手として岐阜市の安全安心な暮らしを確保するために、最前線で対応していくためには、マンパワーの確保が必要不可欠。そういう中で**就労者の高齢化、4月から時間外労働時間の罰則付き上限規制が始まっており、人材不足がさらに深刻化している。**
- ・ 新卒の学生を入れるということは非常に厳しい業者ばかり。時間外制限等により**1人当たりのこなせる仕事量がどんどん減少していくため、業務の効率化が不可欠。**
- ・ 取り組みとして、**建設のDX活用によるデジタル技術を生かした人手不足と技術の継承をしていくが、DXを進めるためには資金が必要。**
- ・ **国や県では電子契約になってきている。合理化を図るため、岐阜市でも早々に進めていただきたい。**
- ・ 地域の建設業は**働き方改革、生産性向上、担い手確保の問題をDXで解決していく**という方向性を出している。今後ともご指導やご協力をいただきたい。

【岐阜市建築技術協会 尾崎副会長】

- ・ **建築物価が2020年に比べて2024年までの4年間で33%アップしている。**これはウッドショック、スチールショック、原油高、円安等の影響で急速な建築コストの上昇が継続しており、加えて**人件費の上昇等もあり、落ち着く見込みがついていない。**工事費はしばらく高止まりするのではないかと予測。
- ・ 建築コストの上昇を価格に転嫁することを求められるのは当然だが、建築業界は下請け組織であり、下請け各社も同じ課題を解決していかなければならない状況下では、思うように進まない。
- ・ **就業者の減少や高齢化がどんどん進んで技能労働者も減ってきている。**時間外労働の制限が4月から変わったが、**労働時間が減ることにより、納期の遅れを生じないように、その不足分を補填する人材を確保しなければならず、逆にコストアップ、人件費を引き上げなければならない状況。**
- ・ 取り組みとして、随時価格情報を把握し、直近の建築コストを反映した単価で見積もりし、受注後直ちに材料の発注、コストアップに繋がらないような手段を講じている。
- ・ 要望として、1つ目は公共工事における設計単価の見直しを随時していただき、合わせてスライド条項を柔軟に適用していただきたい。2つ目は**残業時間の規制がかかっているが、残業の内容を調**

べると現場管理者の書類の作成と整理に充てている。岐阜市への提出書類の削減をお願いしたい。

3 つ目は人材不足について、**担い手育成、将来の建築業を生業にしたいという人材教育を岐阜市にも協力いただきたい。**

【ぎふ農業協同組合 近藤代表理事専務】

- ・ **肥料農薬や資材価格の高騰というのは高止まりという現状が続いている。**
- ・ 資材価格高騰については、J A独自の支援策である農業経営支援として、昨年、対象者 3,628 名に對して、1,500 万円ほど価格高騰に対する支援を行った。
- ・ 要望として、1 つ目、生産者の現状というところで、**生産コストの高騰に向き合うノウハウや取り組みを、ぎふベジTVで地域の方々に発信をしていただけたらどうか。**2 つ目、岐阜市の各イベントを通じて、**生産資材の高騰や流通コストの高騰など、生産現場の現状や課題を消費者に知っていただくようなパネルディスカッション等を開催していただけたら良い。**3 つ目、**岐阜市の回収リン酸を使用した肥料「エコレクト G066」の購入者に対する支援の継続。**4 つ目、**地元で産出される堆肥の循環に対する支援。**

【一般社団法人岐阜銀行協会 脇田専務理事】

- ・ ゼロゼロ融資の返済が始まり、貸出金は減ってくると想定していたが、6月末で**貸出金の年率が約4%位の横ばいで推移。**
- ・ **ゼロゼロ融資の返済状況は、3年前の3月に駆け込みの申し込みがあった影響で、最後の返済開始のピークは4月。**新規実行が終了した3年前の5月末と比較して、今年の3月末時点で件数が4割、残高が5割と**ゼロゼロ融資自体は減少している。繰り上げ返済はかなり増えている。**
- ・ 伴走型支援保証の方に切り替わったことで、**ゼロゼロ融資全体の件数、残高の減少分に対してその75%程度がシフトしている。**
- ・ 東京商工リサーチの上半期の**倒産件数が全国で10年ぶりに高水準に。**東海3県で前年同期比3%倒産が増加。回復が遅れた企業や倒産増えて返済厳しい先について、**相談がここ半年ぐらいの間にかなり増えてきている**というのが現状。
- ・ 円安等を背景とする原材料、燃料費、物価高相当分を受注価格に転嫁できずに、同業他社による価格競争が激化しているといったような声が多く寄せられた。
- ・ **今後については事業再生の支援とか経営改善の支援にフェーズを変えていくことが求められていると認識している。**先延ばしすることなく取り組んでいくために対象先を選定した上で、実情に応じたより深度ある支援を推進していく。

【公益社団法人岐阜県バス協会 葛西会長】

- ・ バス事業は非常に労働集約型で、生産性向上というのはなかなか難しい面がある。
- ・ コスト削減については、軽油が 2020 年度比で約 140%まで上がっている中で、**エネルギー効率の高**

いバスを導入していく必要がある。EVバスや連節バス、交通GXも進めていく必要がある。

- ・ 付加価値となるサービス向上について、交通DXとして、テクノロジーを活用した交通系ICカードによるキャッシュレス化を進めていく必要がある。その他、リアルタイムでの運行情報、「MaaS（マース）」と言われるシームレスな移動、そして自動運転バス。こういった交通DXを進めることで付加価値を高めていく。

【岐阜県トラック協会岐阜支部 大坪経営企画部長】

- ・ 数年後には、30%の物量が運べなくなる時代が来ると言われている。生産者や販売会社など、全体のサプライチェーンの中で、物流と上手く合理化を進めていくことが大きな解決策になる。
- ・ 岐阜市は、物流面で日本の中央都市的なポジションにあり、働く者にとっては合理性の高い都市。物流面の中央都市であるところを、発信していただけると、活性化していく。
- ・ **トラック購入は、時代背景を含めて、今までの化石燃料に頼るものではなく、化石燃料以外のものに入れ替えをしていく。支援や協力をいただきたい。**
- ・ 一般企業あるいは消費者にとって、今が当たり前でない時代が数年来で来る可能性が高いと思われる。納期を1日2日延ばす、あるいは引き取りが1日2日延びるなんてことも出てくるであろう。

◆市長から感想やお礼

【柴橋市長】

- ・ 長時間にわたり貴重なご意見を賜り感謝申し上げます。
- ・ 関係部局の担当者も出席している。ご要望等、問題提起をいただいたので、各部にもしっかり持ち帰って検討させていただく。
- ・ いくつかポイントがあったが、やはり生産性の向上や業務改革っていうところ。書類などをもっと簡素化してほしいという問題提起もいただいたが、岐阜市役所も全く同じである。岐阜市役所も潤沢に職員を採用出来るわけではない。今までリスクマネジメントの観点でいろいろなことを確認しながらやってきた。行政も民間の皆様もお互いが合理的に一定の質を担保しながらやっていくという大胆な見直しも必要ではないか。仕事のやり方をこれからの時代に向けて変えていこう。
- ・ 2024年問題は国が決定した大きなテーマではあるが、地方での生活に関わる話。いろいろな機会に、国に対して様々な制度的に申し上げるべきことを整理しながらやっていきたい。
- ・ 活力は人の往来ということで、本格的な観光マーケティングをしっかりと行いながら、いかに本市の地域の魅力を発信して誘客に繋げるか、まさに官民連携である。

— 了 —